

取組の内容・授業の様子(小学部)



ねらい ・重度重複障がいの児童が、視線で意思(好きなほうを選ぶ)を伝えることができる。

ソフトはEyeMoT3D でEye Movement Training を使用

- ①Your Imagesを2択に設定し、使用したい写真データをはめ込み、スタート。
 - ②児童に対して問いかける。(写真例では、「どちらが好きですか」など)
 - ③どちらかの写真を児童が見続けると、その写真が倒れる。
写真を見て視線を留める時間の長さは、ソフトで設定すること可能。
 - ④倒れたら選んだということで、児童に刺激を返す。(写真例では、そのアニメの動画を見るなど)
 - ⑤繰り返し取り組むことで、視線を向ける＝選ぶ、ということがわかるのではないかと、考える。
- * 写真を選んだ(倒した)後、視線の軌跡を画面で見ることができる。
両方に視線を向けて見比べることができているかなど、確認できる。

成果と今後の課題

頭部の不安定さがあつたり、視線の揺れがあつたりすると、視線をうまく拾えなかつたりする。一人ひとりの状況に合わせて、細かく姿勢や環境を整える必要がある。